

科目名	リスクマネジメント特論	担当教員	大磯 義一郎
科目属性	専門科目D	単位数	2単位(面接0.25単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【概要】</p> <p>本特論では、医療を主たる題材としてリスクマネジメントについて学習する。不確実性、複雑系の典型である医療において、事故発生リスクを下げるためどのようにマネジメントすべきか（risk management）。そして、不幸にも事故が発生した場合、どのような対応が求められるか（crisis management）。本特論では、その背景となる法体系を紐解くとともに、具体的な事例を用いて、リスクマネジメント及びクライシスマネジメントの方策を検討することで、実務において役立つ知識を身に着けることを目的としている。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントクライシスマネジメントの基本的な考え方、方法論を理解する。 ・人間工学に基づく分析方法、対応策の検討方法を理解する。 ・具体的な事例に対して、人間工学に基づく分析、対応策が検討できる。 ・法的責任について各責任の性質及び法体系の中での位置づけを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例について、法的視点からみたリスクマネジメント、クライシスマネジメントが検討できる。 			
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リスクマネジメント、クライシスマネジメントの基礎（教科書①）（第1回～第3回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①医療安全の基本的な考え方 ②リスクマネジメントの基礎 ③クライシスマネジメントの基礎 ④教科書①を精読し、リスクマネジメント、クライシスマネジメントについてレポート作成（1,000字～2,000字） 2. 人間工学的観点からみたリスクマネジメントの考え方及び具体的方法論（教科書②）（第4回～第8回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①ヒューマンエラーの考え方について ②人間工学に基づく分析方法 ③ヒューマンエラー対策の具体的な方策について ④具体的な事例に対するヒューマンエラー事例分析 ⑤教科書②を精読し、人間工学的視点からみたリスクマネジメントについてレポート作成（1,000字～2,000字） 3. 法的視点からみたリスクマネジメント、クライシスマネジメント（教科書③）（第9回～第13回相当） <ol style="list-style-type: none"> ①民事責任、刑事責任、行政責任という3つの法的責任とはどのようなものか ②各々の法的責任はどのように規定されているか ③具体的事例における法的判断の考察 ④教科書③を精読し、法的視点からみたリスクマネジメント、クライシスマネジメントについてレポート作成（1,000字～2,000字） 			

4. 課題研究（第14回～第15回：スクーリング）

- ① リスクマネジメント、クライシスマネジメントそれぞれについて、人間科学的視点と法的視点を融合させた方法論につき概説する。
- ② ①及び1、2、3で習得した内容に基づき、具体的な事例に対するリスクマネジメント、クライシスマネジメント対策を計画、立案する。
- ③ スクーリング後に、具体的な事例におけるリスクマネジメント、クライシスマネジメント対策についてレポートを作成する（1,000字～2,000字）

【評価方法】

評価は、スクーリング 25%、レポート 25%、試験 50%の割合で総合して行います。

【教科書】

- ① 日本看護協会『医療安全推進のための標準テキスト』
※ <http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen> よりダウンロードできます。
- ② 河野龍太郎『医療におけるヒューマンエラー』（有斐閣，2014）
ISBN-10：4260019376
- ③ 大磯義一郎ほか『医療法学入門』（医学書院，2012）
ISBN-10：4260015672

【参考図書】

- ① 米国医療の質委員会医学研究所『人は誰でも間違えるーより安全な医療システムを目指して』（日本評論社，2000）
ISBN：9784535981751
- ② シドニー・デッカー『ヒューマンエラーは裁けるかー安全で公正な文化を築くには』（東京大学出版会，2009）
ISBN:9784130530170
- ③ 和田仁孝・中西淑美『医療メディエーションーコンフリクト・マネジメントへのナラティブ・アプローチ』（シーニュ社，2011）